

# とらじいさん Tojinkyo SSKA 夏

No.213・2016 7.15

**おもな記事**

特集	NPO法人東京腎臓病協議会 第11回総会報告 ……	1
	第6回大会予告 ……	9
	なかまのたより ……	13
	私と東腎協⑰ ……	15



入谷朝顔市

 **特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会**  
**(NPO 東腎協)**

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556  
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp

# 受け継ごう東腎協の歴史

## 繋げよう患者会の活動

定刻通りに須賀理事（虎の門・高津会）の司会進行で始まりました。

### 正会員数の参加人数確認・総会の成立確認



参加者全員で黙祷

司会 当法人の正会員数は、事業

年度末現在107名で議決権総数は107名。本日出席の正会員数は41名、委任状2名、書面評決数29名、合計72です。よって、本日は正会員数及び議決権総数のいずれも過半数は出席しておりますので、定款27条の規定に基づき本総

### 梅原会長挨拶

本日はお休み中のところ東腎協総会にご来臨賜りまして大変ありがとうございます。

急遽、藤田会長が体調不良で任期半ばで退任されました。3年間にわたり東腎協にご尽力いただいたことに感謝申し上げますととも

会は成立していることをご報告致します。

\*定款第27条参照

総会は正会員総数の2分の1以上の出席が無ければ開会することが出来ない。

司会 3月末をもって藤田会長が、退任しました。4月の理事会に於いて互選されました梅原会長よりご挨拶をお願いします。

に、その後の御静養と一日も早い回復を心より祈念するところです。それでは、ここ1年間で大変残念ながら亡くなられた会員の皆様のご冥福を祈り黙祷したいと思いますので、ご起立をお願い致します。（全員起立して黙祷）

### 特集

NPO法人東京腎臓病協議会	
第11回総会報告	1
第6回大会予告	9
2016年度東腎協執行部	12
なかまのたより	13

私と東腎協⑰	宿野部武志	15
活動のまど		16
暑中名刺広告		
		18
事務局から		23

## 目次

213号

ありがとうございました。

前会長に引き続き一年間を後任として務めさせていただきます。

昨年度のご案内の通り総会に於いて、東腎協の一番大きなテーマである中期事業計画(3ヶ年計画)を正会員の皆様にお願いをしております。そのことにつきまして、本年も引き続き継承して参りたいと思います。

ただいまよりNPO法人東京腎臓病協議会第11回総会を開催します。皆様の温かいご支援と、ご協

## 議長選出

**司会** ここで議長の選出をしたいと思えます。定款第26条に「総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する」とありますが、どなたか立候補される方はいりませんか？(会場より一任の酒井さん(菊川橋クリニク腎友



司会の須賀理事



東腎協 梅原秀孝新会長

力を頂きまして上程している審議事項が無事に承認いただけることをお願いいたします。

**司会** それでは総会の議事に入らせていただきます。

会)と長井久美子さん(にこたま会)をお願いしたいと思えますが、いかがでしょうか？(会場より拍手で確認)

**司会** 続きまして議事に入る前に、定款30条により本総会の議事の結果を記録し、確認される方を二名選任しますがいかがでしょうか。(会場より一任の声)。それでは、

議事録署名人を梅原秀孝会長と糸賀久夫正会員(松和患者会新宿南口支部)をお願いしたいと思います。(会場より拍手)

**議長(酒井)** ただ今、司会者からご指名を頂きました「菊川橋ク



議長の長井正会員

リニク腎友会正会員」の酒井です。皆様の慎重、審議をお願いしましてご挨拶とさせて頂きます。**議長(長井)** 同じく議長に選ばれた「にこたま会正会員」の長井です。よろしくお願いいたします。

## 第1号議案 2015年度事業報告

### 中期事業計画(TAP3)の初年度として

2015年4月1日～2016年3月31日

(議案集2～6頁参照)

#### 1. はじめに

私たち東腎協は、昨年の第10回総会におきまして、2017年までの「中期事業計画」を採択いたしました。

その大きな柱は、

- ①過去10年以上にわたる会員減少に歯止めをかけ、安定した4000名会員を目指すこと。
- ②会員減少に伴う財務体質の弱体化を克服すること。



議長の酒井正会員

**議長(酒井)** これより審議に入りますが、第11回総会議案書審議事項に従い議事を進行させて頂きます。第一号議案、2015年度事業報告を板橋事務局長よりご報告させて頂きます。

③患者の医療福祉の向上を目指し、社会貢献活動を推進すること、であります。

#### ①会員拡大について

第一の柱である会員増強については、ブロック活動の活性化を最優先課題として取り組み、各ブロックで正会員会議や会員交流会を通じて、会員増強や未組織施設対策に取り組みました。

多摩ブロックの「会員拡大強化月間」や北部ブロックの「災害間

題についての全患者アンケート」など、従来にない画期的な取り組みを展開し、これからの活動につながる大きな成果を上げましたが、残念ながら結果としては会員実数で2014年度より約300人減少し、長年にわたる会員の減少傾向に歯止めをかけることはできませんでした。

## ②財務体質の強化について

第二の柱である財務体質の強化の課題では、後ほどの2015年度収支報告で詳細について報告されますが、会員減少により昨年度の財政はさらに厳しくなりましたが、事務局経費や諸経費の削減、事業費の見直しなどで、ほぼ予算並みの収支となりました。

現在事務局は、月曜から金曜まで3人、4人の体制で運営しております。報酬についても役員以外は時給制とし、一定の労働環境を守りつつ、無駄な経費削減につとめました。また、賛助会員の拡大、広告収入の増大、印刷費、郵送・通信費の無駄の削減等に努力いたしました。しかし、まだまだ事務局としての課題はたくさんあります。とりわけ会員の皆様へは至らない問題が多々あるかと思いま

すが、首都東京の事務局として、さらに努力していく所存であります。

## ③医療の福祉向上と社会貢献活動

第三の柱、医療福祉の向上と社会貢献活動につきましては、恒例になりました「臓器移植キャンペーン」「国会請願署名活動」「腎臓病を考える都民の集い」「東京都との予算交渉」などを実施しました。

## 2・各ブロック活動

昨年度はすべてのブロックで「中期事業計画」に基づく会員増強をテーマに活動しました。

とりわけ多摩ブロックでは、初めての試みとして「会員増強強化月間」を11月に設定し、理事を中心にブロック内の未組織施設訪問や、既存患者会を訪問し、悩み・相談に乗りました。訪問した施設は19病院、14患者会で、現在も継



事業報告する板橋事務局長

続中です。現状報告では、患者会設立を目指す施設5、個人会員を中心に活動する施設14、を見込むことができました。

北部ブロックでは「災害問題」をテーマに一般会員全体に1500部近いアンケートを実施し、同時に会員増強を訴え、いくつかの患者会で二桁の新会員を迎える成果も生まれました。

また、この「災害問題」の取り組みを通じて、練馬区において「災害時の送迎について」優先的な道路走行、給油などが認証され新聞報道されるといふ画期的な成果も生まれました。

東部ブロックでは新規開業した葛飾区亀有の東京クリニックを訪問しました。また、交流会を3回開催し、学習会と各地区や病院などの災害対策の情報交換をしました。

中南部ブロックでは、正会員会議で中期事業計画と会員増強について討議しました。また、学習会では長期透析者の元東腎協会長系賀久夫さんより、透析医療・合併症の進歩、医療費助成制度の恩恵についてお話しいただき、活発なグループ討論ができました。

全体として、多摩ブロック以外には理事の人数も少なく、ブロックとしての活動を展開していく体制が不十分でした。今総会で新たに8人のオブザーバーが選出されます。改めて各ブロックで、中期事業計画に基づく具体的行動計画を立てていく必要があると思います。青年部は関東ブロックや近隣県の青年部との交流を中心に活動しました。

また、初めての企画として、多摩ブロックの後援を得て「東腎協スポーツ交流会」を東京都障害者スポーツセンター（国立）で行いました。来年度も「活動の計画性」と他県との交流も意識したうえで青年部の再構築と活性化を「目指していきたい」と思います。

東腎協の個人会員は、2015年度末では269名おります。現状では、個人会員との接点は、機関誌の配布と、会費の徴収、年に数回の文書案内等です。

個人会員は将来、患者会を設立していくための橋頭堡です。一昨年、7年ぶりに個人会員交流会を行いました。その後のフォローはできませんでした。新年度では、ぜひブロック別に将来の患者会設

立に向けて個人会員との交流を深めていただきたいと思います。

### 3・社会貢献事業活動報告

(議案集 3〜6頁参照)

①「臓器移植普及推進キャンペーン」・臓器提供意思カードを配布する事業活動の報告

②「腎臓病を考える都民の集い」を開催し、広く一般市民に腎臓病の早期発見・早期治療を啓蒙する事業活動の報告

③全腎協とともに腎疾患対策の早期確立をめざす「国会請願運動」の報告

### 4・業務の効率化報告

### 5・委員会活動報告

### 6・関連する他団体との活動

①全腎協活動報告

②東難連活動報告

### 7・その他の事業活動報告

①福祉移送相談

②腎臓病患者の食事療法に資する事業

③協賛企業広告掲載事業

## 2015年度事業収支報告

(議案集8〜9頁参照)

## 2015年度会計監査報告

(議案集11頁参照)

議長(酒井) 以上で第1号議案の報告が終了しました。

議長(長井) 第1号議案の報告、提案をさせて頂きましたので議案審議に入らせていただきます。質問 糸賀久夫正会員(松和患者会)

3ヶ年計画の初年度として、この総括がどうだったのか具体的に今一つ解りにくかった。説明内容はよく理解できたが、今年度はどこを問題として、何が反省点なの



収支報告する小野副会長



監査報告する戸倉副会長

か、2年目にはどうするのが解ればよかったと思います。

地域腎友会についてですが、最近交流会が行われていません。東腎協の大事な事業として活動してきたわけですが、地域腎友会は要らないのでは、と言う人もいますが、腎臓病や透析者の声は、東京都にも届けますが、各自治体にも届けなければいけないのです。透析患者の誰の声を聴いて行政を行っているのかわからない。地域腎友会のあり方が大事で、交流会で横の繋がりも大事なので地域腎友会のある所に協力を求めて東腎協として活動を続けてほしいと思います。

### 回答 板橋事務局長

会員減少の総括についてですが昨年の中期事業計画の時にも過去10年間の会員の減少の一覧表を提示しました。過去10年に亘って平均1年間に300人の会員が減少しているわけです。毎年、会員拡大運動を行っていかないと確実に会員が減少することを改めて実感



糸賀正会員



小林正会員

しているところですが。同時に昨年1年間で、会費が暫く納入されていない患者会、連絡が中々つかない患者会等の実態が事務局として掌握しきれいなかったのでこの1年間で密に患者会の実態を把握しました。また、患者会の抱えている問題に関わった時に、この際だから解散するとか、役員の高齢化問題、活動が停滞している患者会に対して、東腎協執行部としてフォローできていなかった部分があったと思います。

### 回答 戸倉副会長

地域腎友会の交流会については、理事会の中では、各ブロックの地

域活動で展開していくことが、理事会の方針になっています。交流会は、ここ1、2年間は交流会は行われていませんが、各地域活動は理事会で活動状況を報告することになっていきます。

今後は、皆さんの意見を聞きながら必要があれば地域腎友会交流会を開催してもいいと思います。

また2、3年地域の中で活動していくと思いますので皆様に報告しながら地域の活動を盛り上げて行きながらいい方向に進めていければと思います。

**質問 小林正会員（昭島腎クリニック）**

署名について、昔は代筆が出来たと思いますが、今は代筆が出来ないという事ですが、代筆が出来れば署名人数も増えると思います。その辺はどうお考えですか

**回答 白坂事務局次長**  
署名については、代筆はできません



白坂事務局次長

す。ただ制限を受けまして決められたルールの中で行わなければいけないが代筆はできません。署名用紙の中にも書いてありますが、小さかったり解りにくいと思いますので、次回の署名活動には、その点も徹底してご案内いたします

## 第2号議案 2016年度・事業計画（案）

**議長（酒井）** 2016年度事業計画（案）を板橋事務局長より報告させていただきます。

**板橋事務局長** 第二号議案の「2016年度事業計画（案）」についてご提案させていただきます。中期事業計画の2年目としての「2016年度事業計画」の中心課題は「会員増強」「社会貢献活動」の2つです。

### 1. 会員増強方針

#### ① 会員増強

昨年度より活動の最重要課題となつている会員増強運動を重点的に推進します。ブロック、地域ごとに目標を設定し、未組織施設の訪問活動などを行います。

#### ② 個人会員

個人会員は将来の患者会設立の核として重要です。個人会員募集

をよろしくお願い致します。

**議長（酒井）** 他にご質問はありませんか。ご質問がないようなので第1号議案の採決を拍手でもつてご確認します。（会場より拍手）  
第1号議案は承認可決されたことを報告します。

## 第1号議案 2016年度・事業計画（案）

ポスターやチラシなどを活用して呼びかけましょう。

#### ③ 増員目標

中期事業計画では、今年度400名を超える会員を目指しておりましたが、昨年度事業報告のようになり、現状は約3500名という現状です。自然退会者等を予測すれば、今年度は、まず3500名という会員現勢を維持することを目指します（議案集6ページ参照）。長年にわたる会員の減少傾向に歯止めをかけることを目指していきます。

### 2. 社会貢献事業活動

#### ① 「第36回臓器移植キャンペーン」

上野恩賜公園では北部、東部、中南部ブロックの都心ブロックを中心に、井の頭恩賜公園では多摩ブロックを中心に企画実行委員会

を設け取り組みます。

#### ② 東京都への「予算要請」活動

行政委員会を中心に、  
1. 各種医療費助成制度の維持継続  
2. 要介護透析者への支援強化  
3. CKD（慢性腎臓病）への取組推進

4. 透析患者の大災害時の対策

5. 再生医療と臓器移植について

6. 就労支援について

以上の重点項目に絞り込み、具体的要請を実施します。

**③ 第46次国会請願署名活動**

患者会運動の柱として取り組み、昨年度を上回る署名活動を展開しましょう。取り組み期間は本年10月から12月とします。

**④ 腎臓病を考える「都民の集い」の開催**

広く一般市民に腎臓病の早期発見、早期治療を啓蒙するため、「腎臓病を考える都民の集い」を企画開催します。15年度を参考にマスコミ等への宣伝対策も強化します。

**⑤ 災害対策**

東北大震災、熊本・大分大震災の教訓から、透析患者の災害対策は緊急かつ重要な課題であり、東腎協独自の「災害対策マニュアル」

の作成に着手します。

「災害対策会員名簿」の更新・作成と、災害時緊急連絡網の整備を行います。

### 3・ブロッック活動

#### ①会員増強

中期計画の二年目として、全ブロッックで新規会員獲得のための目標を持ち、全員参加運動を実施する。

#### ②未組織施設対策

未組織クリニックや個人会員など新規分野の開拓を推進する。個人会員のポスター・チラシを活用する。



真剣に総会に参加する正会員

#### ③学習会などの企画

ブロッック毎に、広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防啓発活動のため学習会などを企画します。

#### ④正会員会議の開催

ブロッック内患者会の実態を把握し、行事企画などの成功のために定期的な正会員会議、交流会などを開催します。

### 4・広報活動

#### ①機関誌発行年4回を堅持する

機関誌「とうじんきょう」を1、4、7、10月の4回発行する。

#### ②ホームページの管理・更新

HPはイベントやお知らせの情報を遅滞なく掲載し、メールでの問合せや資料請求などに迅速に対応します。

#### ③対外的広報活動を強化する。

新聞、テレビ、ラジオなどに主催する事業の広報活動を行う。また、医療施設への情報提供などを強化します。

#### ④広報の営業活動を強化し、収入を目標化し健全財政の柱として位置付ける。

広告営業や年賀広告営業など収入を目標化し、健全財政の一端を

担います。

#### ⑤患者会の広報担当者会議を開催する。

### 5・事務局・組織活動

#### ①理事会・ブロッック長会議

理事会は隔月開催を予定していましたが、東腎協の現在置かれている情勢等を考慮して、原則的に毎月行うことを5月理事会で決定しました。また、ブロッック長会議は必要に応じて適宜開催し相互に情報交換をします。

#### ②事務局体制の強化

事務局強化は事業目標を達成するための重要な課題です。厳しい財政事情の中ではありますが、さらに経費削減に努め健全財政に向けて努力します。

#### ③ブロッック体制の強化

ブロッック活動は東腎協活動の柱です。会員・役員の皆様のご協力を得ながら組織の強化を図ります。

#### ④財務体質の強化

患者会会費、個人会員会費の年

度内回収を徹底します。

また既存の会費収入、事業収入や寄付金等は一定の限界があり、将来を見通した「その他の収入財源」確保のための研究、開発を行います。

### 6・その他の事業活動

①関連する他団体との共同事業を積極的に推進します。

②（一社）全腎協、NPO法人東難連と協力し、不特定多数の一般市民に腎臓病について広く啓蒙活動を行います。

③福祉・移送相談推進事業、腎臓病患者の食事療法に関する事業などを行います。

以上、2016年度の事業計画（案）をご提案いたします。

議長（酒井） ありがとうございます。続きます。2016年度収支予算（案）を小野理事より報告いたします。

## 2016年度収支予算（案）

## 報告

（議案集10頁参照）

議長（長井） ありがとうございます。

以上で第二号議案のご報告と提案をさせていただきますので議

案審議に入らせていただきます。

質問 糸賀久夫正会員（松和患者会）

去年も発言しましたが、理事会の開催を隔月で開催するのは問題だと思えます。一ヶ月期間が空くと意見のすり合わせができなくなるので理事会を毎月行い意見のすり合わせを徹底して行い理事のみなさんは、全員で役割を分担してやってほしいと思えます。理事、正会員の皆さんも各腎友会では大変苦労されていると思いますが、横のつながりをしっかりとっていただきたいと思えます。今の状況は誰も経験していない大変な状況だと思えます。理事を始め正会員の皆さんも大変だと思えますが、東腎協の活動を継続していつてほ



山崎正会員



田崎正会員

しいと思えます。

質問 田崎勲正会員（新小岩クリニック）

広告収入について、事業を増やすことも大事だと思いますが、全腎協との広告のすり合わせをしてみたいかがでしょうか。

質問 山崎弘正会員（東海病院ひまわり会）

寄付金の制度を考えてみてはいかがでしょうか。

回答 板橋事務局長

機関誌の広告収入については、現状広告をとれるのは、表3、4とチラシを折り込む方法です。広告収入は、現況マックスの状態を取れています。その他機関誌の中

### 第3号議案 2016年度新役員

議長（酒井） 本年度は、改選期

ではありませんが、退任理事があります。また、新任のオブザーバーがいますのでご紹介させていただきます。役員選考委員長の須賀理事よりお願い致します。

○2015年度退任理事

理事 藤田吉彦（小池会）

理事 岸里 悟（森山友の会）

理事 坂本悦男（東海病院ひまわり会）

で、患者に対する施設の情報とか、賛助会員のPRになるような広告記事で収入を得られるような打ち合わせもしております。また賛助会員制度では、会員数を増やすことや年会費を増額してもらおう交渉の余地はあると考えています。

回答 小野副会長

寄付金制度の提案については、事務局・理事で協議をさせていた

議長（酒井） 他にご質問はあり

ますか。ご質問がないようなので第2号議案の採決を拍手でもって確認いたします。（会場より拍手）第2号議案は承認可決されたことを報告します。

### 第3号議案 2016年度新役員

理事 関戸千尋（優人大泉クリニック患者会）

理事 吉田芳子（個人会員）

理事 新見範彦（新小岩クリニック友の会）

監事 小関盛通（柳原健腎会）

○2016年度新オブザーバー

白坂徹夫（個人会員）

中野雄蔵（織本病院腎友会）

村門日出雄（新小岩クリニック友の会）

の会）



2016年度東腎協執行部の皆さん

住安 重（新小岩クリニック友の会）

鈴木明彦（高中腎友会）

三好かおり（高松病院患者会）

松本茂利（個人会員）

古暮 宏（腎内科クリニック世田谷患者友の会）

○2016年度新役員は本誌12頁を参照。

議長（酒井） ありがとうございます

ました。第3号議案にご質問はございませんか。ご質問がないようなので第3号議案の採決を拍手で確認いたします。（会場より拍手）第3号議案は承認可決されたことを報告します。

# ごあんない

## 文化行事

### 第一線で活躍する音楽家の演奏を聞こう(仮題)

- ビバルディの四季から2曲  
ヴァイオリン 青木玲子さん  
ピアノ伴奏 太刀川琴絵さん
- ショパンの「幻想即興曲」  
ピアノソロ 太刀川琴絵さん
- オペラのアリアから2曲  
ソプラノ 芝沼美湖さん  
ピアノ伴奏 太刀川琴絵さん



太刀川琴絵さん

### 皆んなで歌って元気になろう(仮題)

- 歌の指導 芝沼美湖さん
- ピアノ伴奏 太刀川琴絵さん
- 曲目 未定



青木玲子さん

#### 演奏者紹介

ピアノ 太刀川琴絵さん

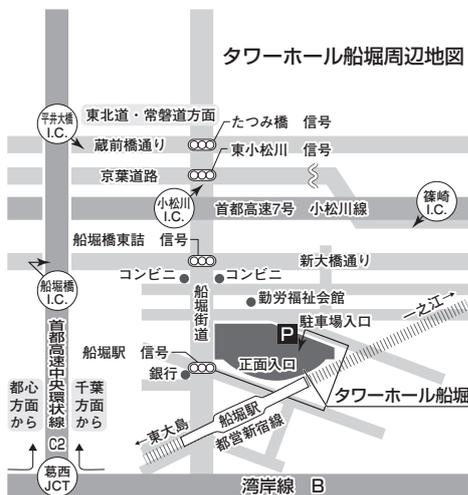
桐朋女子高校音楽科、同大学卒業後フランス・カナダにて学ぶ。国内各地でオーケストラソリストとして、また様々な演奏家や来日アーティストとの共演など国内外にて活動。多くの合唱伴奏も行う。

ヴァイオリン 青木玲子さん

桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大学卒業後、同大学研究科終了。ソロ・室内楽・オーケストラなど各地で意欲的に演奏活動を行う一方、後進の指導にも力を入れている。

ソプラノ 芝沼美湖さん

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業、同大学研究科オペラコース、二期会研修所修了後イタリアで学ぶ。オペラのソリストとして活躍、自身のリサイタルも開催、合唱指導を行う。二期会会員。



議長(酒井) 続きまして議案集にはないのですが、その他として何かございますでしょうか。なければ本総会の全ての議事が終わりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。これで議長の任を解任させていただきます。

司会 酒井正会員、長井正会員ありがとうございました。続きましてその他の報告すべき事項について

ですが新規会員獲得コンテンツを実施しましたが、ご意見、ご提案がある方は、挙手にてお願いします。(新規会員獲得コンテンツの活動報告は本誌16頁を参照) 熊本震災について(本誌10頁を参照)

司会 それでは閉会の挨拶を戸倉副会長よりお願いします。

## 閉会の挨拶 戸倉副会長

本日は皆様のご協力により予定通り早く総会を終了することが出来ました。ありがとうございます。今日は大変貴重なご意見もあつたと思います。患者会の会員さんも減っていく状況ですが、これからもユニークな活動をしながら東腎協の財務体制がしっかり安定

するよう本年も皆さんとともに頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

司会 以上をもちまして、NPO 法人東京腎臓病協議会第11回総会を終了いたします。

# NPO東腎協 第6回大会

## 記念講演

### CKD分子栄養療法と運動で認知症・介護予防

講師：佐中 孜 先生

メディカルプラザ市川駅院長、元東京女子医科大学教授

- 1971年 鳥取大学医学部卒業
- 1974年 東京女子医科大学医学博士取得
- 1980年 カリフォルニア州立大学リサーチフェロー
- 1983年 東京女子医科大学医学部講師
- 1987年 ニューヨーク州立大学客員研究員
- 1990年 東京女子医科大学医学部助教授
- 1998年 東京女子医科大学医学部教授
- 2011年 日本大学医学部客員教授  
メディカルプラザ篠崎駅西口院長  
江戸川病院生活習慣病CKDセンター長
- 2013年 メディカルプラザ市川駅院長  
メディカルプラザ篠崎駅西口副院長  
江戸川病院生活習慣病CKDセンター長



佐中先生

## 認定医・認定専門医等

日本内科学会／日本腎臓学会／日本透析医学会／日本アフェレーシス学会／  
日本病態栄養学会／日本臨床栄養学会／日本東洋医学会

開催日：9月11日（日）  
時間：11：00～14：10  
会場：タワーホール船堀  
2階 瑞雲  
参加費：無料

## おもなプログラム

- 司会・鈴木吏良氏  
(筑波大学医学医療係、元NHKアナウンサー)
- ①挨拶・活動報告
  - ②記念講演  
CKD分子栄養療法と運動で認知症・介護予防  
講師：佐中 孜 先生
  - ③親睦・交流（お弁当）
  - ④長期透析者  
・長期透析30年以上
  - ⑤アトラクション  
一流の演奏を聴いて、皆で歌って元気になろう
  - ⑥会員さんのONステージ

その他  
作品募集展示

## 会員さんのONステージ

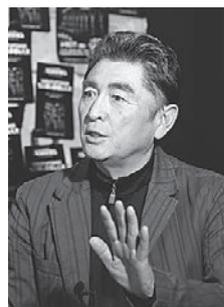
演出家、振付家、劇作家

中村龍史 さん (透析17年・中南部ブロック)

### プロフィール

1951年、東京上野生まれ。「劇団四季」の4期生を経て役者修行。1981年、コンサートの構成・演出・振付を一人で手がける演出家としてデビュー。コンサートに演劇的な要素を取り入れ、卓越したアイデアとストーリー性のある振付で、松任谷由実、小林幸子をはじめ、歌って踊るアイドル集団の先駆け「東京パフォーマンスドール」など、幅広いジャンルを手がけ、各方面で高い評価を獲得。以来、ミュージカル・演劇から国体の開会式まで、300本以上のさまざまな舞台を創り出している。2001年暮れから2007年夏まで、「筋肉（マッスル）ミュージカル」に取り組み、日本初のオリジナルミュージカルとして2度にわたりラスベガス公演を成功させた。2008年から中村JAPANドラマティックカンパニーを主宰し、近年は、訪日外国人や老若男女が楽しめる台詞の少ない実験的な作品をライブハウスで上演中。2017年1月、倉本聰（北の国から・風のガーデン）氏からの要請で舞台「走る」を共に演出する。富良野・東京（池袋サンシャイン劇場）を経て3月まで全国ツアーを予定。

25歳のときに多発性のう胞腎（ADPKD）と診断され、46歳で腹膜透析を開始。2010年、59歳のときに血液透析に移行し、現在は在宅透析をつづけている。2012年、その体験を書いた本『満身ソウイ（創痕・創意）工夫』を出版した。



中村龍史さん

# 平成28年熊本地震関連情報

以下の情報は⑤を除きインターネットで公開されている情報を整理したものです。

## ①気象庁発表の熊本地震の震度状況

震度	1～3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計
4 / 14の発生回数	28	9	1		1		1	40	40
4 / 15の発生回数	100	10	1			1		112	152
4 / 16の発生回数	109	36	4	1	2	1	1	154	306
4 / 17～4 / 30の発生回数	758	25	1	3				787	1093
5 / 1～5 / 31の発生回数	512	8						520	1613
6 / 1～6 / 10の発生回数	94							94	1707

## ②厚生労働省発表の透析医療施設の状況

熊本県内の透析施設 94施設 患者数 6,393人

熊本県内の透析病院の状況

月日	4 / 17	4 / 18	4 / 20	4 / 21	4 / 23	4 / 25	5 / 2
透析不可施設の患者（人）	2000	1600	500	300	200	200	
透析不可施設数（箇所）	27	21	9	8	7	6	※2
（建物や器機の破損）		7	6	6	7	6	
（透析機器の破損）		1					
（透析用の水の不足）		13	3	2	1 <sup>*1</sup>		

※1 汚れた水が混ざったことによる 貯水タンクの水の入れ替えへの対応を含む。

※2 建物の一部損壊等によって透析できない施設を除き、透析医療を提供中。

透析できない施設の患者については、熊本県内の他の医療機関での受け入れ等により対応中。

## ③厚生労働省 健康局がん・疾病対策課の対応

平成28年4月14日 熊本県 人工透析担当課 宛

災害時の人工透析医療の確保について「厚生労働省防災業務計画（第2章第8節）」

日本透析医会等との協力、透析患者の状況、透析医療機関の状況の把握、

平成28年4月16日 各 都道府県人工透析担当課 宛

被災地の透析患者等の受入体制確保等について（協力依頼）

受入施設、宿泊施設の確保、受入に係る調整等の特段の配慮、協力、水・医薬品等の確保

## ④透析医会等の対応

### 災害時情報ネットワークを活用

熊本県透析施設協議会

2016 / 4 / 18 10 : 24

2016 / 4 / 18 13 : 38

厚労省と現場の連携を密にしたい、施設状況を書き込みを！

厚労省、熊本県、自衛隊と連携し給水の安定供給に取り組んでいる。

給水を依頼するにあたり、施設の設備状況など詳細な情報を！

福岡県透析医会

2016 / 4 / 22 16 : 31

熊本県地震被災透析患者への受け入れ透析施設の案内

## ⑤患者会「熊本県腎会事務局長」による報告の概要（2016 / 4 / 30）

- ・当初は他施設での2～3時間の短時間透析、渋滞で通院は1日かかりであった。
  - ・移動は患者の自家用車、自家用車がない者は施設の送迎車、スタッフの自家用車を利用。
  - ・被災から1週間でライフラインはある程度復旧するも、家を無くす等でテント暮らしの人も。
- ☆5月末においても被災患者の状況は把握できていない。災害見舞金の申請もできていない。

## 第11回総会 アンケート集計

### 1. 本日の総会はいかがでしたか？

①大変良かった 11人 ②ふつう 15人 ③良くなかった 0人

### 2. 「2016年度事業計画」は理解できましたか？

①良くわかった 18人 ②ふつう 7人 ③良くわからなかった 0人 ④ 無回答 1人

### 3. 予算・決算についてご意見はありますか

○もっと場所が近ければ、交通費等金銭的にも安くなるし皆様も楽になり参加しやすくなるのではないのでしょうか？安い施設等探してみたいか？誰かが通いやすい場所となると、新宿、池袋、中野あたり？

○予算編成に於いて、会費収入3500人分は、もっと高く設定すべきである。(収支報告では、85.7%であったが)強気の数字を意識したらどうだろうか。管理費が安すぎる。給料は適度な金額を予算化すべきである。

○会員数が少ないので会費の減も仕方ない。

○赤字状況に不安を感じています。会員を増やすことの大切さを切に思いました。

○赤字体質を改善してほしい。

○入るを因る策が提案できれば良いのですがなかなか難しいですね。

○大変厳しい予算編成ご苦労様です。

○支出削減は評価できる。今後とも会員拡大のため努力を望みます。

### 4. 東腎協全体に対してご意見はありますか

○イベントも花見や食事会、小旅行など楽しいものがあれば誘いやすいと思います。学習会や、講演会では食事療法など解り切った話も多く気分もマイナスになりますが、楽しくお喋りするようなものはコミュニケーションもできますしそういったことで気づくことも多くなるのではないのでしょうか。

○東腎協への報告文章が多い。もう少しデータベース化し報告が簡単になるよう努力して頂きたい。

○当会を含めた患者会の応援と導きをお願いします。

○会員の死亡が年に3人ほど出るため年ごとに増やしてもいつも同人数です。平成27年度までは会員さんの協力で年間4名位加入がありました。平成28年度の4月、5月加入の方は会長の私が27年から近づいて親しくなり新規加入。山本さんと、阿部千代さん「とうじ

んきょう」を読んでくださって感激してくれました。○いつもありがとうございます。いただける情報を大事にしながら、自分たちの出来る事を考えていきます。○会員拡大活動に対してPR冊子等活用して行っていますが、全患者様にお渡しすることがなかなか困難です。(受け取りを拒絶される方もいます)出来ましたら患者会の意義、必要性、透析治療環境の危機感等が盛り込まれたPRポスターを作ってもらえませんか？院内に掲示し全員が目に見えるようになればもう少し理解されるのではと思っています。署名活動は、患者会のみでの活動ではなく全患者活動として施設病院サイドからの推進をお願いできればと思っています。(現在、署名依頼は、患者会員のみに行っております)

○会員減少については友の会役員全員で努力している。○会員数の減少はまことに深刻だと思います。しかしそれについて一般の会員の認識度はかなり弱いと思われます。患者会としての努力も不可欠ですが、東腎協の広報でも是非繰り返し実情の報告をお願いします。事務局長の力量に期待します。

○透析治療の自己負担ゼロの継続に向けて全力で取り組んでいただきたいと思います。

○会員の減少が深刻です。役員だけではなく会員の方々が声掛けをしていかないと大変だと思います。私の病院もなかなかうまくいきません。

○東京都3万人の透析患者が全員加入した時の会費/年を参考までに算出してみてください。東腎協、全腎協の会費5400円/年が高いとの声が大きく入会しない理由となっています。

○活動をもっと明確にして東腎協をもっとアピールして下さい。

○全腎協協力金の減額を検討願います。20%減額できれば赤字「ゼロ」に可能になる？(約300円)1800円⇒1500円へ。方策(案)全腎協機関誌発行6冊⇒3冊へ

○一つの病院やクリニックで出来ないようなイベント(懇親会、旅行など)や勉強会などをしては……？

～総会アンケートで協力ありがとうございました～



## 2016年度NPO東腎協役員

No.	役職名	氏名	ブロック	患者会名
1	会長	梅原 秀孝	多摩部	府中けやき会
2	副会長	小野 誠	多摩部	吉祥寺あさひ腎友会
3	副会長	戸倉 振一	東 部	森山友の会
4	事務局長	板橋 俊司	多摩部	日野クリニック腎友会
5	事務局次長・会計	白坂 徹夫	事務局	個人会員・オブザーバー
6	理事	遠藤 博迪	多摩部	すながわ相互診療所患者会・いずみ
7	理事	金井 信憲	東 部	新江東橋クリニック腎友会
8	理事	工藤 育夫	北 部	東海病院ひまわり会
9	理事	齊藤 和巳	多摩部	八王子東町クリニック桑の実会
10	理事(全腎協社員代表)	酒井 豊	東 部	菊川橋クリニック腎友会
11	理事(全腎協理事)	榊原 靖夫	北 部	高中腎友会
12	理事	清水 陽介	多摩部	すながわ相互診療所患者会・いずみ
13	理事	須賀 春美	中南部	虎の門・高津会
14	理事	杉崎憲三郎	多摩部	個人会員
15	理事	田崎 勲	東 部	新小岩クリニック友の会
16	理事	中村 博	東 部	新葛友の会
17	理事	長井久美子	中南部	にこたま会
18	理事	村越 京子	多摩部	八王子東町クリニック桑の実会
19	オブザーバー	中野 雄蔵	多摩部	織本病院腎友会
20	オブザーバー	村門日出雄	東 部	新小岩クリニック友の会
21	オブザーバー	住安 重	東 部	新小岩クリニック友の会
22	オブザーバー	鈴木 明彦	北 部	高中腎友会
23	オブザーバー	三好かおり	北 部	高松病院患者会
24	オブザーバー	松本 茂利	中南部	個人会員
25	オブザーバー	古暮 宏	中南部	腎内科クリニック世田谷患者友の会
26	監事	山口 登	多摩部	個人会員

## 退任理事・オブザーバー

No.	役職名	氏名	ブロック	患者会名
1	理事	藤田 吉彦	中南部	小池会
2	理事	岸里 悟	東 部	森山友の会
3	理事	坂本 悦男	北 部	東海病院ひまわり会
4	理事	關戸 千尋	北 部	優人大泉学園クリニック患者会
5	理事	吉田 芳子	多摩部	個人会員
6	理事	新見 範彦	東 部	新小岩クリニック友の会
7	監事	小関 盛通	東 部	柳原健腎会



## スペイン、再び― 念願のトレドへ

長井久美子 (にこたま会)

2016年3月10日ヘルシンキ経由でマド・リッドに入りました。2度目のスペイン旅行です。前回アルハンブラ宮殿やセビージャの大聖堂も廻る9日間の旅でしたが今回はマド・リッドとバルセロナだけの7日間の旅行です。翌日はバスをチャーターしてのトレド行です。オプショナルツアーもありますが人気のツアーは満員で私たち4人と添乗員さん、現地ガイドさんの6人でした。この旅行は全自由行動なのですが6人のうち一組のご夫妻だけが自分たちだけで行動され、一組のご夫妻



左寄り2人目が長井さん

と男性1人と私の4人は一緒に行動するようになり、添乗員さんもほとんど案内をしてくださいました。トレドは私が絶対行きたいと思っていた外壁に囲まれたスペインカトリックの総本山でありまた大好きな画家エル・グレコが活躍した都市でもあります。

まず元救貧院だった美術館へ。さつそくエル・グレコの聖母被昇天に遭遇。大感激です。次は大聖堂、これもエル・グレコの作品がいっぱい。黄金一色の堂内も圧倒されるばかりでした。もう1つ教会でエル・グレコを見てトレドの

町中へ。特産のマジパンのお菓子や金銀の象嵌細工のアクセサリーや買い城壁外にある国営のパラドールでランチをとりました。2センチぐらいあるステーキはとても柔らかく、お魚の焼いた烏賊も一ついただいで食べましたがおいしかったです。午後はマド・リッドに戻りプラド美術館に行きました。私は翌日ゆっくり見たいと思ったのでアングルの特別展だけ見ました。金曜日でしたので帰る頃は夕方から無料になるのを待っている人が長い行列を作っていました。翌日はお土産を買った後、プラド美術館に行き半日をエル・グレコの前で過ごしました。夕方からは透析でした。

### 透析、スリ、そして武勇伝

海外はどこでも軽食が出されるのですが、そのクリニックは出なかつたので、普段軽い夕食をとっている私は血糖値が下がり、持参の飴をなめました。13年の長い透析歴の中で初めての経験でした。それでも夜中に吐いたり眠れなかつたりあまりいい透析ではなかつたです。翌日はAVEという高速列車で

バルセロナへ。骨付き牛肉の焼いた昼食の後、皆さんは出かけましたが、私はホテルで休憩、夕方海岸沿いのレストランで合流。ショートパスタのパエリアや、エビのアヒージョ、マテ貝などとてもおいしかったです。翌日はガイドさんの案内でサグラダファミリヤを見た後、チョコレート屋さんや昼食に素敵なバルに行った後市場を見て私はそこで皆さんと別れてガウディのカサ・ミラへ。

そこで掏摸に遭遇しました。その日はバッグを持たずポケットにじかに財布を入れていたのですが、すいている店内でやけに近くに来るなど思っていたのですが、隣でTシャツを落としたのでポケットを確かめたら財布がありませんでした。すぐに両腕をつかみ日本語で「財布を返せ！」と叫びました。最初は何のことかというような顔をしていましたが、10分近く離さなかつたら返してよこしました。みなさんから武勇伝とか言われましたが恐怖感はありませんでした。前日一人でレストランに向かった時、タクシーに30ユーロもぼられたので不正をするのが許せなかつたようです。透析の時間が迫って

いたので見逃してやりましたがショップの店員が全く気付かずインターネットをしていたのに腹が立ちました。

透析は地元のひとと7人で受けましたが固焼きビスケットと飲み物が出たので無事に終わりました。同行の方たちに恵まれ、また念願のトレドに行くことができ楽しい旅行でしたが、一人で行動することの危険を感じた旅行でもありませんでした。

それでも海外旅行は楽しく今度はどこに行こうかなと考えている今日この頃です。

## 投稿のお願い

編集委員会では会員の皆様からの投稿を随時受け付けています。

「なかまのたより」に投稿の方、旅行、趣味、サークル活動等内容は問いませんので、何でもお寄せ下さい。

また、患者会紹介も募集しておりますので東腎協事務局までご連絡をお待ちしております。

☎ 03-3944-4048

## 2016年度臓器移植キャンペーン

(井の頭公園会場)

主催…東京腎臓病協議会

共催…東京都

後援…三鷹市・武蔵野市(予定)

協力…日本臓器移植ネットワーク

・東京医大八王子医療センターを予定

日時…10月2日(日) 11:00～

12:30

場所…井の頭恩賜公園野外ステージ

ジ前売店裏

(上野公園会場)

未定

主なイベント予定(井の頭公園会場)

ゆるキャラ「ハーティ君」出演

風船プレゼント(1,000個を予定)

定)

血圧測定(東京医大スタッフによる健康相談 血圧計の設置)

尿検査(東京医大スタッフによる健康相談 試験紙の調達)

ティッシュの配布(臓器移植のパンフと意思表示カード入り)

アンケートの実施とノベルティープレゼント

その他…多摩地区の多くの参加者を期待しております。

## 『糖尿病と透析の人に役立つ「足病」の教科書』 ～「重症化予防」という希望の医療ネットワーク～

大浦武彦(北大名誉教授)  
秋野公造(医学博士・参議院議員) 著  
(三五館 1400円+税)

「足病」とは…2016年より国の支援を受けて、具体的に医療体制の仕組みが動き出した新しい医療領域です。

本書は、まだ一般の人々に知られていない「足病」の治療・予防法と、その医療制度の新しい仕組みについて、初めて解説した一般向けの本になります。

糖尿病や透析の重症化で、年々増加する足切断を回避する取り組みを含めて、病気自体を悪化させない理念が、両著者の努力で国の「下肢末梢動脈疾患指導管理加算」(要は保険に点数がつき、医療者に収入が生じる)が実現し、足切断を回避する仕組みが全国に整い始めたのです。すなわち「足病」治療体制ができたのです。

糖尿病や透析の患者さん及び家族の方はもちろん、医療関係者に「足病」が広く認知され、お役に立てることを願っております。  
(三五館 編集部より)



# 私と東腎協

17



## 宿野部 武志さん (48)

腎内科クリニック世田谷患者友の会(透析30年)

### ◆腎臓病と歩んできた人生

私は3歳の時に慢性腎炎に罹り、18歳から透析をしています。1987年2月9日に透析を導入しておりますので、透析歴は30年目に入りました。

そんな病歴ですので、私の人生は腎臓病と共にあったと言っても過言ではありません。

幼い頃は入退院の繰り返しで、副作用の強い薬により通学もままならないこともありました。そして18歳の高校三年生の時、大学受験の際に尿毒症の状態が悪化し1987年2月9日に透析導入となりました。

導入当時約29年前は貧血改善薬もなく輸血することがあったり、カリウムやリンの管理等もなかなか難しく苦労しておりました。その後著しい透析医療の進歩により効果の高

い薬剤の開発や、しつかり透析をすることの大切さ等を知り現在30年目に入った透析生活ですが、仕事・家庭・透析それぞれに充実した日々を送ることができています。

腎臓病・透析医療に関わるすべての皆さまに心から感謝の気持ちで一杯です。

### ◆東腎協との関わり

患者会との関わりですが、大学病院で透析を導入した後、退院して自宅から通院する施設に移った際にその施設に患者会がありすぐに入会しました。その施設ではほとんどの患者が入会していたと記憶しています。

入会当時は正直言って患者会の存在自体の重要性までしつかりと理解はしていなかったかも知れませんが、それでも「患者会には入るべき」という気持ちは漠然とあったように

記憶しています。

その後、自身社会人になって実家のあった埼玉から東京に移り住んでいたのですが、ご縁があり、5年程前でようやく当時の木下会長から理事推薦のお話をいただきました。

実は当時から私はすでに自身で「腎臓病・透析医療に貢献するための事業を行う」ための会社を立ち上げていました。

3歳からという長い間、患者という立場で腎臓病・透析医療のお世話になってきました。が、患者だからこそその体験と想いをお世話になってきた医療に役立たせることができるんじゃないか、という思いから起業していたのです。木下元会長は私の会社の事業のご存知で、お声をかけてくださいました。

言うまでもなく、患者会がこれまで果たしてきた役割は、医療制度の確立をはじめとして、啓発活動等とても大きなものがあります。先人の方々の血のにじむ様なご尽力のおかげで恵まれた環境の中、透析医療を受けられている事は理解していましたが、感謝の念も抱いておりました。

東腎協理事就任中は中南部ブロックでの活動と青年部長としての活動を中心に取り組ませていただき、国会請願活動や移植推進キャンペーン、全腎協関東ブロック会議、全腎協青年会議等々の活動に関わらせていただく中で多くの事を知り、学ばせていただいたと思っています。

# とうじんきょう 活動の まど

第11回総会発言

## 会員増強拡大キャンペーン活動報告

1 東部ブロック・勝和なごみ会

私達の一年間に取り組んだことを紹介させていただきます。

私達の病院は、足立区の環七の外側に在り埼玉県寄りで、埼玉県の会員の患者さんもあります。透析患者数は約300名です。当会の悩みは、患者の高齢化、重篤な長期入院などで自然減少していることです。ここ数年、会員数は激しく流動化しています。新規導入患者さんにアプローチすべく病院スタッフの協力を頂きながら試みていますが、ご高齢の方が多く勧誘は一步も進まない状態でした。それでも先人たちが築いてきた年間

の四大行事（総会＋勉強会、秋の講演会、バス旅行、新年会）をしっかりと計画して新会員が参加してくれるように役員一同頑張っています。更に医療費が無料なのは、先人達の患者会の活動の賜物であること、経済的な支えがいかにかに大切であるかを具体的な金額数字を盛り込んだポスターを患者さんの目に触れるすべての箇所に貼り出し、300枚のパンフレットを患者さん全員に配布し、声掛けをしました。

結果として、新年会・講演会で3名の新規加入者、1名の再入会者があり、300枚キャンペーンで新規入会者が17名ありました。今年は新しいキャッチフレーズ



勝和なごみ会 保倉正会員

を考えて活動することを考えています。私の個人的な考えでは、「医療費を無料にするのは、誰か？それはあなたが！」です。そして意識の低い患者さんに去年同様に声掛けをする考えです。

また、役員の高齢化、重篤な病気を抱えていることで役員数が少なくなっているのが大きな悩みですが、病院スタッフの協力のもと、役員の成り手を集中的に説得して、会の運営を強化したいと思っています。

## 2 多摩ブロック

### 長久保ハナミズキ会

長久保腎友会は会としては、独自の活動はしていません。全腎協、東腎協の活動を支持する立場を取っています。会費も5400円で、署名活動の方でわずかな収入がある分で活動をしています。その中で患者さんがあまり関心を持っていないのが現実でした。会員が減っていくのは恒常化し、死亡や転院等で人数が減っても「僅かな人達でもやって行ければいいね」と言う事で活動を進めていました。

でも東腎協の機関誌等で会員の人数が大事な事だというのが改めて解りました。そこで今回初めて2月に「おたよりNO1」を発行して会員全員に配り、話題作りをすることで会員の関心を高め、会員相互の関係を深めようと「長久保腎友会」の改名を公募しました。新名称は「長久保ハナミズキ会」に決定し公表しました。応募された方全員に粗品を配りました。



長久保ハナミズキ会 横溝正会員

会員増強キャンペーン活動として、3月に「入会のお願い」を作成、透析患者の置かれている状況と長久保患者会の活動内容を解りやすく手紙を書き、マンガ！「腎臓病の患者会の歴史と活動」と共に未入会者全員に配布しました。

結果として、13名の方が新規に加入して頂きました。

きちんと資料を準備して、誘うことが出来たので効果があつたと考えています。

今後は、新しく入って来た方に迅速に声掛けをしていこうと思います。

### 3 多摩ブロック

#### あけぼの友の会

あけぼの友の会は40周年の総会を開催することが出来ました。いろんな課題について根本的に見直すという事で、40周年と昨年8月の新病院移転を機会に「病院と患者会」の関係を含めて見直すことにいたしました。きっかけは何かというと残念ながら会員の加入率が50%切りまして、現在45%です。そこで病院との連携等においても病院側から見ると、患者の中に会員と非会員がいる。その関係が50%を切ると対立はしていないが、関係がギクシャクしているように思われます。そこでまず会員・非会員の間にクリアにしようと。今までは、病院の協力を得ながら友

の会中心の行事の開催でしたので非会員に案内がいきたつていなかった。そこで理事長と相談しながら病院主体の行事を徹底しようと考えています。全患者が集まる

中で、友の会に時間を頂いて友の会及び東腎協、全腎協の現状、患者会としては患者の為に活動をしていること、今ある医療費の無料化の恩恵を強くアピールしていきたいと思つています。今後は病院主体の全患者参加の患者会にしようとして進行中です。ここで問題は、

東腎協、全腎協との関係はどうするの？ 今後東腎協にも相談したいと思つています。

あけぼの友の会は病院側と強調して新しい歩みをしていこうとし



あけぼの友の会 加々美正会員

ています。あけぼの友の会は、原点に返つて「会員・非会員」の区別のない活動を考えています。

#### 全腎協2016年度 全国大会 in 神戸

全腎協結成45周年  
兵庫県腎友会結成45周年  
合同記念大会

「新たな未来へ  
笑顔の波を神戸から」

2016年度全腎協全国大会は5月14日から15日の2日間に神戸ポートピアホテルで行われ、東腎協からは梅原会長を始め6名が参加しました。

大会初日の交流会には全国から約400名の参加者がありました。交流会の終盤には、サプライズでブラジルのサンバチームが登場して会場を多いに盛り上げてくれました。

2日目の記念シンポジウムでは約1,500名の方が参加しました。

#### 足病講演会

「透析患者の足の重病化予防」

#### 透析患者の栄養セミナー

兵庫県の特産品を題材にして聴



左から板橋事務局長、榊原理事、酒井理事、梅原会長、糸賀正会員、工藤理事

衆者参加型で必要なたんぱく質を摂取することが重要であるという講演でした。

#### 記念シンポジウム

「45年のあゆみと安心できる未来を考える」にはシンポジストとして糸賀久夫氏が参加しました。

#### 全腎協会員40年透析顕彰者

- 早瀬弘美様 (国分寺こやま腎友会)
- 小川康利様 (国分寺こやま腎友会)
- 柳沢幸子様 (上野しのぼす会)
- 早坂喜久江様 (新小岩クリニック船堀)
- 川野英子様 (新小岩クリニック船堀)
- 濱野康男様 (昭島腎クリニックひまわり会)
- 小山敬子様 (練馬桜台クリニックさくら会)
- 佐々木和雄様 (森山友の会)

「おめでとうございます」

# 暑中御見舞申し上げます

NPO東腎協賛助会員

<p>医療法人財団 <b>織本病院</b> 理事長・院長 高木 由利 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-26-1 ☎042-491-2121</p>	<p>医療法人社団 大坪会 <b>三軒茶屋病院</b> 院長 大坪 由里子 〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1-21-5 ☎03-3410-7321</p>	<p>理事・オブザーバー一同 事務局次長 白坂 徹夫 事務局長 板橋 俊司 事務局長 工藤 育夫 北部ブロック長代行 中村 博 多摩ブロック長 梅原 秀孝 中部ブロック長 須賀 春美 副会長 戸倉 振一 副会長 小野 誠 会長 梅原 秀孝</p>	<p>NPO法人東京腎臓病協議会 会長 梅原 秀孝 副会長 小野 誠 副会長 戸倉 振一 中南部ブロック長 須賀 春美 多摩ブロック長 梅原 秀孝 中部ブロック長 須賀 春美 副会長 戸倉 振一 副会長 小野 誠 会長 梅原 秀孝</p>	<p>医療法人社団 櫻会 <b>十条腎クリニック</b> 院長 街 稔 〒114-0034 東京都北区十条2丁目13番1号 カリアニア4階 ☎03-3908-2411</p>
<p>医療法人社団 秀佑会 <b>東海病院</b> 院長 江本 秀斗 〒176-0023 東京都練馬区中村北2丁目10番11号 ☎03-3999-1131 FAX03-3999-7027</p>	<p>医療法人社団 三友会 <b>あけぼの病院</b> 理事長 南郷 俊明 〒194-0021 東京都町田市市中町1-23-3 ☎042-728-1111(代)</p>	<p>社会医療法人社団 健生会 <b>羽村相互診療所</b> 所長 小林 重雄 〒205-0023 東京都羽村市神明台1-30-5 ☎042-554-5420 FAX042-555-3151</p>	<p>医療法人財団 健康文化会 <b>小豆沢病院</b> 院長 篠田 格 〒174-8502 東京都板橋区小豆沢1-6-8 ☎03-3966-8411</p>	<p>医療法人社団 駿昭会 <b>小池内科</b> 院長 小池 昭夫 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目13番16号上田ビル ☎03-3265-0203</p>
<p>医療法人社団 順洋会 <b>武蔵野総合クリニック練馬</b> 院長 下村 洋 透析センター長 木村 庄吾 〒176-0001 東京都練馬区練馬1丁目26番1号 ☎03-3993-7015</p>	<p>医療法人社団 自靖会 <b>自靖会親水クリニック</b> 院長 北村 唯一 〒132-0033 東京都江戸川区東小松川2-7-1 ☎03-3566-1138 FAX03-3674-7036</p>	<p>医療法人社団 松和会 <b>望星田無クリニックス</b> 院長 福井 光峰 〒188-0011 東京都西東京市田無町2丁目21番地12号 ☎042-446-4571 FAX042-446-4838</p>	<p>医療法人社団 松和会 <b>望星赤羽クリニック</b> 院長 喜田 浩 〒115-0045 東京都北区赤羽2丁目11番3号 ☎03-3902-0255</p>	<p>医療法人社団 心施会 <b>府中腎クリニック</b> 院長 小杉 繁 〒183-0055 東京都府中市府中町1-8-1 第7三ツ木ビル6F・7F ☎042-366-8909(代)</p>
<p>医療法人社団 清湘会 <b>清湘会記念病院</b> 理事長 佐々木 成 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-17-24 ☎03-3636-2304 FAX03-3636-2304</p>	<p>医療法人社団 晴仁会 <b>立川北口駅前クリニック</b> 理事長 檜垣 昌夫 診療部長 石原 理裕 〒190-0012 東京都立川市曙町1丁目31番2号遠藤創造ビル3階 ☎042-523-2299 FAX042-523-2400</p>	<p>医療法人社団 菅沼会 <b>腎内科クリニック世田谷</b> 理事長・院長 菅沼 信也 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 ☎03-5596-9976 FAX03-5596-9970</p>	<p>医療法人社団 菅沼会 <b>腎内科クリニック世田谷</b> 理事長・院長 菅沼 信也 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 ☎03-5596-9976 FAX03-5596-9970</p>	<p>医療法人社団 心施会 <b>杉崎健太郎</b> 理事長 杉崎健太郎 〒183-0055 東京都府中市府中町1-8-1 第7三ツ木ビル6F ☎042-366-8909</p>

# 暑中御見舞申し上げます

NPO東腎協賛助会員

<p>医療法人社団 成和会</p> <p><b>西新井病院 血液浄化・透析室</b></p> <p>理事長 金 光宇</p> <p>〒123-0845 東京都足立区西新井本町1-12-12 ☎03-5647-1700</p>	<p>医療法人社団 春口クリニック</p> <p><b>飯田橋春口クリニック</b></p> <p>院長 春口 洋昭</p> <p>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3丁目9-3 SKプラザ2F ☎03-5215-1515</p>	<p>医療法人財団 百葉の会</p> <p><b>銀座医院 上野透析クリニック</b></p> <p>院長 関 正則</p> <p>〒110-0005 東京都台東区上野 2-12-20 ロータスビル3階 ☎03-5817-8770</p>	<p>医療法人社団 菱秀会</p> <p><b>禽メディカル訪問看護リハビリステーション</b></p> <p>〒169-0074 東京都新宿区北新宿 1-4-7 ホクシンビル5階 ☎03-5337-7331 FAX03-5337-7332 (代)</p>	<p>医療法人社団 北桜会</p> <p><b>新線池袋クリニック</b></p> <p>院長 目良純一郎</p> <p>〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-10-10 東武アネックスビル4階 ☎03-5911-1250</p>
<p>医療法人社団 北桜会</p> <p><b>東武練馬クリニック</b></p> <p>〒175-0083 東京都板橋区徳丸 3-11-2 ☎03-5922-3530</p>	<p>社会福祉法人 むつみ会</p> <p><b>春陽苑にここクリニック</b></p> <p>理事長 青山 一雄</p> <p>〒331-0068 埼玉県さいたま市西区飯田新田91-1 ☎FAX048-621-1125</p>	<p>医療法人社団やよい会</p> <p><b>あだち入谷舎人クリニック</b></p> <p>院長 山口雄一郎</p> <p>〒121-0836 東京都足立区入谷 1-14-17 ☎03-5839-6201</p>	<p>医療法人社団やよい会</p> <p><b>あやせ駅前腎クリニック</b></p> <p>院長 榎本 美穂</p> <p>〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-16-4 とうしんビル5・6階 ☎03-5697-8281</p>	<p>医療法人社団 北桜会</p> <p><b>笹塚・代田橋透析クリニック</b></p> <p>院長 布川 朝雄</p> <p>〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-64-8 笹塚サウスビル2階 ☎03-5304-1131</p>
<p><b>新小岩クリニック</b></p> <p>院長 西尾 恭介</p> <p>〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22 ☎03-3694-5621 FAX03-3694-5628</p>	<p><b>新小岩クリニック船堀</b></p> <p>院長 加納 達也</p> <p>〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-4-24 ☎03-3688-9973 FAX03-3688-9973</p>	<p><b>寺田病院</b></p> <p>院長 寺田 光男</p> <p>〒168-0081 東京都杉並区宮前5丁目18番16号 ☎03-3332-1166 FAX03-3332-6766</p>	<p><b>南青山内科クリニック</b></p> <p>院長 鈴木 孝子</p> <p>〒107-0062 東京都港区南青山 7-18-18-101 ☎03-6805-1836</p>	<p><b>あかつき印刷株式会社</b></p> <p>代表取締役 工藤 盛雄</p> <p>〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4の25の2 APビル ☎03-3497-0531 FAX03-3497-0043</p>
<p><b>イーホープペプセル</b></p> <p>代表 三好 哲夫</p> <p>〒659-0042 兵庫県芦屋市緑町 1-4-702 ☎0797-26-8591</p>	<p><b>エルピス株式会社</b></p> <p>代表取締役 細井 孝</p> <p>〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-27 ☎0120-393-578</p>	<p><b>株式会社 教宣文化社</b></p> <p>代表取締役 中村 伸一</p> <p>〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下794 ☎04-2944-4323 FAX04-2944-6011</p>	<p>株式会社</p> <p><b>コーワテクノサーチ</b></p> <p>代表取締役 川岸 史和</p> <p>〒541-0053 大阪府大阪市中央区 本町1丁目5番7号 ☎06-6267-0212</p>	<p><b>株式会社 東京在宅サービス</b></p> <p>代表取締役 中野宏次郎</p> <p>〒160-0022 東京都新宿区新宿 1丁目5番4号YKBマイクガーデン201 ☎03-3354-0341 FAX03-3354-0373</p>

# 暑中御見舞申し上げます

NPO東腎協賛助会員

<p>東京障害年金相談センター 所長 杉野 賢一</p> <p>〒120-0003 東京都足立区千住 1-4-1 東京芸術センター13階5号 ☎03-3888-6614 FAX03-3888-6614</p>	<p>扶桑薬品工業株式会社 東京第一支店</p> <p>〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番5号 ☎03-5220-3771 FAX03-5220-3771</p>	<p>ベータ食品株式会社</p> <p>〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-16-10 高石ビル5階 ☎06-6345-6222</p> <p>東京オフィス</p>	<p>森下仁丹株式会社 リーダー 阪本 秀伸</p> <p>〒101-0043 東京都千代田区神田富山町10-2 アゼンド神田ビル6階 ☎03-6206-8138</p>	<p>ユアーマート株式会社 カフェロシリーズ東日本地区総代理店 佐々木 俊規</p> <p>〒170-0003 東京都豊島区駒込 3丁目2番7号 デュアル駒込5F ☎03-5980-6757 FAX03-5980-6758</p>
<p>練馬桜台クリニックス 理事長 永野 正史</p> <p>〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 4-11-3 ☎03-5999-0723 FAX03-5999-0823</p>	<p>新中野透析クリニック 院長 津田 信次 スタッフ一同</p> <p>〒164-0012 東京都中野区本町 3丁目23番3号新中野AMビル1階 ☎03-3370-8111 FAX03-3370-8129</p> <p>医療法人社団 腎と水</p>	<p>丸大食品株式会社 東日本特販営業課</p> <p>〒135-0051 東京都江東区枝川 2-23-2 ☎03-3647-3270</p>	<p>医療法人社団 仁星会 理事長 稲田 俊雄</p> <p>〒177-0033 東京都練馬区高野台 1-18-15 ☎03-5372-6151</p>	<p>練馬高野台クリニック 院長 鈴木 重伸</p> <p>〒177-0033 東京都練馬区高野台 1-18-15 ☎03-5372-6151</p> <p>医療法人社団 仁星会</p>
<p>株式会社 日昌医療器</p> <p>〒557-0057 大阪府茨木市豊川 5-26-6 ☎072-640-2321</p>	<p>ドクターベジタブルジャパン株式会社</p> <p>〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-6-1 日東合同ビル6F ☎03-6206-0604</p> <p>医療法人社団 仁星会</p>	<p>大泉学園クリニック 院長 草場 岳</p> <p>〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-40-24 サンダリオンビル3-5F ☎03-5947-5681</p> <p>医療法人社団やよい会</p>	<p>北千住東口腎クリニック 院長 大森 容子</p> <p>〒120-0026 東京都足立区千住旭町 11-2 学園通りビル1階 ☎03-5228-4510</p>	<p>株式会社ACEトラベル クルーズ事業部 松丸 友昭</p> <p>〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-11-1 帝国ホテルタワー12階 ☎03-6852-8377</p>
<p>日伸駅前クリニック 院長 森山 君子</p> <p>〒130-0022 東京都墨田区江東橋 3-10-8 オーク錦糸町ビル5F・6F ☎03-3634-9903 FAX03-3634-9946</p> <p>特定非営利活動法人 ADMS (アダムス)</p> <p>〒121-0011 東京都足立区 中央本町3-4-4 足立区医師会館内 ☎03-3840-2111</p> <p>社会医療法人社団 健生会</p>	<p>すながわ相互診療所 所長 小泉 博史</p> <p>〒190-0002 東京都立川市幸町5-9-2 ☎042-5338-1502</p>	<p>今里クリニック カサボニータ海老名(サ高住) 院長 小俣 正子</p> <p>〒243-0423 神奈川県海老名市今里1-10-12 ☎046-232-8222</p>	<p>医療法人社団 光靖会 井口腎泌尿器科 理事長・院長 井口 靖浩</p> <p>〒125-0061 東京都葛飾区亀有3-7-7サンセリテ靴子 3階3号室 ☎03-3838-8721 FAX03-3838-8723</p>	<p>井口腎泌尿器科 理事長・院長 井口 靖浩</p> <p>〒125-0061 東京都葛飾区亀有3-7-7サンセリテ靴子 3階3号室 ☎03-3838-8721 FAX03-3838-8723</p>



## ■ 個室の外来透析に差額部屋代など導入へ

オーバーナイト透析など外来で「個室」の透析を受けたとき、患者から特別料金を徴収してもよいことを認める通知が6月24日、厚生労働省から出されました。

透析施設が特別料金を徴収できるのは、「完全な個室」で、「静かな環境下で受診できる環境設備が確保されている」場合です。間仕切りなどで個人の区画がされているような場合は適用されません。

また、医療機関には、個室を患者が自由に選択できるようにし、患者の意に反して個室を強いることがないよう求められています。「医療機関内の受付窓口など見やすい場所に、個室数や料金などを分かりやすく掲示する」「個室の構造や料金などについて明確かつ懇切丁寧に説明し、患者の同意署名を受ける」ことも必須条件になっています。

厚労省から出された関連通知では、他に「患者都合による検査のキャンセルで使用できなくなった薬剤等の費用」について、事前に説明し同意を得た上で患者へ負担を求めてもよいことが加わりました。

日本では、保険が利かない診療等を行い、患者から料金を受け取ることは「混合診療」として禁じています。しかし、厚労省は、差額ベッドや予約診療など、患者が選択する「特別のサービス」については、ルールを定め、例外的に料金を徴収することを認めています。これを「選定療養」といいます。

厚労省は、2014年に閣議決定された「日本再興戦略」の中で、選定療養について「対象の拡充を含めた不断の見直しを行う仕組みを構築する」としたのを受け、昨春、選定療養への追加等の意見を公募し、中央社会保険医療協議会の議論を経て、選定療養に今回のような見直しを行うことを決めました。

寄せられた意見の中には、患者が希望して深夜0時をまたぐ「長時間の透析」の場合に費用徴収を可能にする案や、月14回を超えて透析した場合の診療報酬上の評価の是非を検討すべきとする案、選定療養制度を廃止し、保険給付範囲の対象を拡大すべきとする案が含まれていました。

## ■ 来年度から子どもから提供された腎臓は子ども優先へ

6月29日に開かれた臓器移植委員会（厚労省）において、子どもから提供された腎臓は子どもへ優先的に移植できるよう基準を見直すことが了承されました。



小児への移植を優先する臓器は、心臓に続き二つ目になります。現行の選択基準は、長期間移植を待つ成人患者が選ばれやすく、これまで提供された18歳未満の脳死下の腎臓は全て18歳以上の患者へ移植されています。委員会では、待機期間の長い成人患者への影響も考慮し、小児からの提供に限って小児患者への移植を優先させることが社会的に妥当と判断しました。

今後、具体的な年齢基準をきめ、指針を改正し、来年度から適用する予定です。

## 「ご寄付御礼」

扶桑薬品工業（株）  
○東京第一支店様（4月～6月）  
ご寄付ありがとうございました。

## 「青い鳥・ハガキご寄付御礼」

### 【患者会】

清湘会記念病院腎友会  
豊田クリニックグループ  
新江東橋クリニック腎友会  
日野クリニック腎友会  
府中けやき会  
東海病院ひまわり会  
竹口病院腎友会

松和患者会新宿南口支部  
松和患者会西新宿支部  
永山腎友会

桃井診療所腎友会

優人クリニック患者会

長久保ハナミズキ会

代々木病院腎友会

立川相互病院透析室希望会

練馬桜台クリニックさくら会

勝和なごみ会

瑞江腎クリニック腎友会

大田病院腎友会

親水クリニック友の会

小笠原クリニック友の会

桑の実会

腎内科クリニック世田谷患者友の会  
あけぼのクリニックいちよう会  
聖蹟さくら会

吉祥寺あさひ腎友会

西クリニックひまわり会

昭島腎クリニックひまわり会

石川文恵様

久保田由美子様

鈴木弘様

柘永照也様

岸本敦様

横山捷雄様

大石緑様

ありがとうございました

事務局長募集

（応募資格）

記

賛助会員会費：個人年額 5,000円、  
団体年額 10口10,000円／10口以上  
※年1回名刺広告を機関誌「とう  
じんきょう」に掲載させていただきます（但し、継続でも初年度1  
回のみとさせていただきます）。

## 特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会 賛助会員入会のお願い

1972年（昭和47年）11月19日、  
東京都腎臓病協議会（現、特定非  
営利活動法人東京腎臓病協議会）  
を結成しました。結成から44年を  
経過し、透析医療も格段に進歩し、  
40年を迎えている透析患者さんも  
いらっしゃいます。

その一方で社会保障制度、医  
療費制度の削減が社会問題となっ  
ており、莫大な費用を要する透析  
医療も安心してはられない状況  
です。これからも医療機関、各企  
業、患者団体と結束して活動する  
ことが大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守  
る活動に賛同いただければ是非、  
賛助会員として団体の活動を支え  
ていただきたく心よりお願い致し  
ます。

記

賛助会員会費：個人年額 5,000円、  
団体年額 10口10,000円／10口以上  
※年1回名刺広告を機関誌「とう  
じんきょう」に掲載させていただきます（但し、継続でも初年度1  
回のみとさせていただきます）。



## 編集後記

○本年総会も無事終了し、「中期  
事業計画」二年目の活動がスタ  
トした。昨年度から各患者会での  
会員拡大の取り組みも、徐々に成  
果が出てきている。総会での患者  
会活動経験報告が少しでも全体に  
広がることを望みたい。

○2017年東京都予算要請が始  
まる。都政の無駄を省き、福祉、  
医療に少しでも重きを置く新都知

○透析者及びその家族、又は腎臓  
病患者のために誠意を持って仕事  
を出来る人

○勤務時間は午前10時から午後5  
時（透析日は4時）頃まで

○勤務日は、月水金及び火木（週  
2、3日）

○資格経験は問わないが、パソコ  
ン、経理、編集などの経験、関心  
があれば可

○待遇は時給制とし時給は東京都  
の最低賃金（現行907円）、交  
通費全額支給

○申込・問合せ  
東腎協事務局（豊島区南大塚2  
40-11富士大塚ビル2F・事務局  
長 板橋まで）

事が選ばれてほしいものだ。(板橋)

○東腎協の会員は約10年前ごろから減少の潮の流れは止まらず厳しい状況です。昨年度より正会員、会員の皆さん、理事と共に「会員増強キャンペーン」に取り組んでいますが、更なる知恵を絞り出して活動することにより潮流が変わり奇跡が起きて会員が増えることを期待しつつ活動を継続していきたいと思います。(工藤)

## 今後の活動予定

- 7月23日(土) ～ 24日(日) 関東ブロック会議(長野)
- 7月24日(日) 第119回理事会
- 7月31日(日) 東腎協中南部ブロック正会員交流会
- 9月11日(日) 東腎協第6回大会(タワーホール船堀) 2階瑞雲
- 9月25日(日) 東腎協第120回理事会
- 10月2日(日) 第46次臓器移植普及推進キャンペーン(井の頭恩賜公園)
- 10月23日(日) 東腎協第121回理事会

## 〈事務局雑感〉

○2015年度の公的年金積立金の運用成績は5兆円を超える損失となることが確定したらしい。「らしい」というのはまだ公表されていないから。その公表は参院選後の7月29日だという。どう見ても参院選挙に悪い影響を与えたくないという選挙対策であることが透けて見える。政府筋には「いままで何十兆も儲けているから3兆5兆はどうってことない」という剛の者もいるが、古来、儲けたときは声高に吹聴しスツたときは黙るのが三流ギャンブラーの習性。国民がコツコツ積み上げた年金をバクチに充てられてはたまらない。

(白坂)

○2016年関東の夏は水不足により東京でも節水という可能性があります。というのも利根川上流のダムの貯水率がすごく低く、ダムの貯水量を1992年から観測して25年間で観測史上最低だそうです。過去をさかのぼると1994年(平成6年)に関東では水不足で渇水になったことがあり、その年の夏の気温も高く当時の観測史上最高気温を記録したそうです。暑さが厳しいときは外出を控えお

部屋を涼しくして体調をくずされませんよう元気で過ごしてください。

○皆さん、お元気ですか? 今年(松山)

## 前号の訂正とお詫び

- 春号「なかまのたより」練馬桜台クリニックさくら会の記事でお名前に誤りがありました。次の様に訂正してお詫び致します。
- 誤…長野院長 ○正…永野院長
- 誤…小山啓子 ○正…小山敬子
- NPO東腎協第11回総会議案集のオプザーバーの氏名に誤りがありました。次の様に訂正してお詫び致します。
- 誤…村門日出男
- 正…村門日出雄

## 第6回大会 文化展作品募集

平成28年9月11日(日)

今回も、趣味や作品の展示に関して写真、絵画、彫刻、手芸、俳句等の作品を当日会場に展示します。次の要領で大会事務局までお知らせください。

【申込方法】電話又は手紙で大会事務局に連絡してください。大会事務局(担当:板橋)連絡先:〒170-0005豊島区南大塚2丁目40番11号 富士大塚ビル2階 ☎03-3944-4048

## 表紙のことは



## 下町の風物詩・朝顔まつり

入谷朝顔まつりは、毎年7月6日から8日まで開催される日本最大の朝顔市で毎年40万人もの人出で賑わっています。入谷の朝顔が世に知られるようになったのは、江戸時代末期のころと言われています。

江戸時代から夏の風物として江戸っ子に親しまれてきた朝顔。時代を超えて、江戸の夏が感じられる三日間です。

の夏は、今までで、一番暑い夏になるようです。夏バテに気を付けて、いつもより水分を取って共に頑張りましょう。(柘永)